

家畜衛生広報いいだ

長野県飯田家畜保健衛生所
飯伊家畜畜産物衛生指導協会
TEL : 0265-53-0439、0440
FAX : 0265-53-0441
E-mail : iidakachiku@pref.nagano.lg.jp
http://www.pref.nagano.lg.jp/iidakachiku/

H30 (2018)3.1 発行 2017_No.11

農場 HACCP に取り組んでみませんか？

農場HACCPは安全な畜産物を生産するシステムとして取り組む農家が増加しており、全国の平成30年2月2日現在における認証農場は132農場です。また、長野県では4農場（肉牛1、養豚2、採卵鶏1）が認証農場となっています。将来の経営を見据え、チャレンジしてみてもいいかがでしょうか。

農場 HACCP とは？

「より安全な畜産物の生産」を目指すとともに

- ・ 経営方針の明確化
- ・ 危機管理体制の強化
- ・ 作業手順の見直し
- ・ 情報の共有
- ・ 従業員の教育、など

システム化 ⇒ 第三者認証 ⇒ **経営の安定**

メリットは？

- ・ 安全性に対する従業員の意識向上、モチベーションの向上
- ・ 生産物の安全性、品質および生産性の向上
- ・ 迅速な問題解決、など

取り組んだ農場の感想
は裏面へ→

取組の具体的な内容とスケジュール（例）

【経営者のコミットメント（誓約）】

- ・ 経営方針の明確化とその周知
- ・ 衛生管理目標の設定
- ・ 組織及び組織の役割と権限

【HACCPチームの編成（経営者が任命）】

- ・ 責任者（1名）
- ・ チーム員（従業員数名、薬品会社※、獣医師※、家保※等） ※：外部アドバイザー

【主な検討事項】

- ・ 製品の特徴等の明確化
- ・ 製造工程のみえる化（工程一覧図、施設図面、標準作業書）
- ・ 危害分析（HA）と重要管理点（CCP）の設定
- ・ 管理基準の設定
- ・ モニタリング方法、改善措置、検証方法の設定
- ・ 記録の維持管理

【PDCAサイクルによるレベルアップ】

計画（Plan）⇒実行（Do）⇒評価（Check）⇒改善（Act）⇒P⇒D⇒C⇒A⇒

【スケジュール（例）】

宣誓⇒月1回1-2時間の検討会（2-3年）⇒推進農場⇒月1回検討会（約2年）⇒認証農場



農場 HACCP に関するご相談はお気軽に家畜保健衛生所まで

農場HACCPに取り組んだ農場の感想

(農場HACCP認証の取組み事例集、平成27年2月公益社団法人中央畜産会より)

従業員の意識改革、農場環境の改善

- 安全性に対する従業員の意識が向上した。
- スタッフの自主的な取り組みによって、品質管理がなされるようになった。
- 内部コミュニケーションが出来るようになった。
- 整理整頓の意識が改善した。
- 従業員さんのモチベーションがアップし、衛生管理以外にも良い方向へ回り始めた。

農場における課題の洗い出しと迅速な解決

- 作業内容が書き出されたことにより、現場作業がマニュアル化できた。
- 記録・管理を確実に実施することで問題解決が迅速に出来るようになった。
- 課題の抽出が出来るようになった。
- 分析する事が習慣付けられるようになった。
- 作業手順などが統一され、問題点を共有化できるようになった。
- 衛生管理目標である「汚破卵率の改善」が見られた

生産性の向上、損耗防止によるコスト軽減

- 個体乳量が15%増、出荷乳量は前年対比で130%
- 離乳後事故率約13%削減、要求率約3%改善、出荷日令約5日短縮
- 肉豚の出荷日令が平均7～10日短縮するなど生産性向上と離乳後事故率が、4%台から1%台に低下することができた。
- 薬剤費は予防目的のワクチン費はアップしたが、治療目的の抗生剤が大幅に減ったため、トータルとして薬剤費は20%ほど減らすことができた。

定期報告について

定期報告を提出いただきまして、ありがとうございました。

まだの方は、早めの提出をお願いします。